

夢創造

平成 30 年 10 月 15 日 (月) no.18 文責：上田

▶送別式典でタイダンスを参加者全員で踊りました。交流生の皆さん、ありがとうございました。



2 学期 始業式 学年後半に向けて

先週の 9 日 (月) から 2 学期が始まりました。植物の生長に例えると、一年の中で花から実をつける時期が 2 学期になるかと思います。子どもたちは学校でのいろんな教育活動を通して、自分と向き合いながら「できる・わかる」を確かなものにしていきます。学年によっても個人によっても、その確かさにはもちろん違いがありますが、どの子も学習や生活の豊かさが感じられるよう、学校と家庭、地域が手をたずさえて子どもの成長を見守ることが大切です。

先日、学校評価 (保護者) アンケートを配布し、回答を依頼しました。是非、1 学期を振り返り、この時期に学校 (学級) の取組について、子どもの成長を問うつもりで回答ください。アンケート結果については、教育活動の改善に役立てるために、家庭にも、後日、報告をします。

ところで、毎週末、学年便りが各家庭に配布されています。担任が何に子どもたちの成長を感じているのか、また、どんなことに配慮した指導を行っているかなども知ることができます。あらためて読み返してみてください。

郡市科学展 科学にいざなう

11 日 (木) に郡市科学展・発明工夫展が行われました。日常生活の中での疑問の解決のための実験や観察、考察は、貴重な科学体験です。また、規定の広用紙にまとめる活動も思考・表現の力を高めることにつながります。入選、県入選、特別賞などの受賞もありました。

ちなみに、小学校全 125 点の出品作のうち 21 点が産山学園小学部の作品でした。学園の子どもたちを科学にいざなう機会として、科学展は大切な教育活動です。

ヒゴタイ交流 送別式典

今年度のヒゴタイ交流も 12 日 (金) の送別式典、14 日 (日) の交流生のタイ帰国で区切りを迎えます。送別式典の交流生 4 名と引率教師の挨拶でも述べられたようにタイと日本の絆をより確かなものにすることができました。ホストファミリーや地域の皆さんにもたいへんお世話になりました。ありがとうございました。

交流生を引率されたジャン先生が「産山学園と産山村の皆さんの温かさにつれることができたことがとてもうれしかった。ヒゴタイ交流が続くことを願っている。」と話されていました。

